

富士薬品セイムス ガールズカップ 2019

決勝大会レポート

日程：2019年9月18日(水)～9月22日(日)
会場：埼玉・大宮けんぼグラウンド

富士薬品SEIMS
World Challenge Program
GIRLS
CUP
2019

日本テニス界の未来は ここから生まれる!!

地域大会を勝ち抜いたメンバーが埼玉に集結！3回目を迎えた「富士薬品セイムス ガールズカップ」決勝大会で、今年もアツい戦いが繰り広げられた。

取材／編集部
写真／広川智基、山岡邦彦(NBP)



準優勝

ガッツも技術もある！
今後数年で爆発的成長が
期待できる有望株

市岡梓奈

グリーンテニスブラザ

どんなボールにでも食らいついていく、そんな表現的を射ているだろう。だからこそ小さな体がコート上で大きく見える。「とにかくボールを拾いたい気持ちに前を出過ぎるんです」、キラキラした笑顔と共に話す市岡が、準優勝となった。ライバルの園部に對しては、「いつもいろいろと学ばせてもらっている。今回も対戦できて良かったです」と敬意を払って語る。苦しい状況でも、なるべくボールの後ろに入って強打で切り返してポイントを奪う。テクニック面では、大会でも屈指の存在と言って過言ではない。

「課題は、あまり後ろに下らないで前でプレーすること。海外の選手を相手にコートを広く使って戦ってみたいです」とモチベーションも高い。ガッツもあって、技術もある。この数年で爆発的な成長が期待できる有望株だ。

優勝

ライバル市岡との決勝
マッチポイントを握られても
動じることなく逆転優勝！

園部八奏

与野テニスクラブ

「優勝できて、うれしいです！」と開口一番に語った園部。決勝で対戦した市岡は同県(埼玉)のライバルであり、地域大会での対戦ではフルセットで勝利した難敵である。第1セットを4-6で落としてしまうが、「攻め急いでした。安定感を高めようと切り替えました」という第2セットは、マッチポイントを握られるも集中を一段階上げてセットを取り返す。その勢いのまま、第3セットは6-1。優勝を決めた。「ピンチの時、開き直ってプレーできるのが私のいいところ」という長所を発揮した試合だった。「ヨーロッパでもどこでもいいので、海外の選手を相手にとにかく前に出て攻めるテニスで戦ってみたいです」と思いを語った園部、パワフルなショットが目立つが、コートを広く使った組み立てができることが何より魅力。チャンスを得られれば、さらなる成長が期待できるはずである。



同じ世代で切磋琢磨し合い さらに頑張ってください

株式会社富士薬品 高柳昌幸社長



——今大会の感想をお願いします。

「富士薬品セイムス ガールズカップ」の開催も今年で3回目。今年も全体的にレベルが上がっているように感じます。スケールの大きなテニスをする選手、クレバーなテニスをする選手、みんなの成長を期待しています。同じ世代で切磋琢磨していくわけですから、さらに頑張ってくださいね。

——着実に結果も残ってきていて、注目度も上がっています。

「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」の選抜メンバーも着実に結果を残していて、非常にうれしい思いです。TEAM2007は、4名プラスαを選抜し、意識し合うことで好結果も出てきています。今年も同規模で選抜する予定です。

世界の現状を見ると、ジュニアのレベルはますます上がってきています。15歳でシニアの大会に出る選手も少なくありません。その世界の流れに乗り遅れないように、どんどんチャレンジしてほしい。そのためのサポートもしますし、TEAM2008となるメンバーにも大きく期待しています。

トッププロを目指すジュニアをサポート

富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム

2019年大会で3度目の開催となった「富士薬品セイムス ガールズカップ」。今年も全国の地域大会を勝ち抜いた女子ジュニア選手が、実力をいかに発揮した大会となった。注目したいのは、同大会が単に「No.1を決める大会ではない」ということ。「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」のメンバーを選ぶための大会でもあるのだ。

写真＝編集部

最大3年間の海外遠征をサポートする

「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」

「プロになりたい」という本気の想いを持つ女子ジュニアのためのプログラム、それが「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」である。

過渡期にある女子プロの世界。今や15歳、16歳など、若くしてWTAツアーやグラントスラムで活躍することも珍しい例ではなくなっている。その選手たちにとって、非常に重要な時期が「12～14歳」という時期。まずは年齢を問わないテニスヨーロッパや13歳で解禁となるITFジュニアへ、そして早ければ14歳からITFシニアツアーへ。その中で、プロにつながる登竜門的大会、プチザス(フランス)やエディハー、Jr.オレンジボウル(共にアメリカ)に出場し、結果を残す。

「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」では、その重要な(最大)3年間で、サポートしようというもの。海外の地で、将来のライバルとなる相手と勝負をする。選手にとっては、これ以上ないチャンスとなるものである。

TEAM 2006

木下晴結

●運動センスの良さが光るプレーヤー。相手の球威を生かしたカウンターを得意とし、昨年のJr.オレンジボウルでは3位に入る大健闘を見せている。

切磋琢磨し結果を残しているプログラムメンバーたち

TEAM2003からスタートした「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」のメンバーたち。すでに、国内トップの大会である全日本ジュニア、全国選抜ジュニアでの優勝、世界が注目する舞台であるJr.オレンジボウルで3位に入るといった活躍を見せている。この春には、プログラム出身初となる光崎澤が誕生。重要な3年間(最大)のサポートが、これらの結果をもたらしていることは言うまでもない。



「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」の メンバーに選ばれるチャンスは誰にでもあるのだ!!!

全国10会場での地域大会を行い、上位選手が決勝大会への出場権を得られる「富士薬品セイムス ガールズカップ」。同大会は、世界基準であるハードコート、3セットマッチを基本としたもの。真の実力を出しやすいように、特に決勝ではリーグ戦(1次予選リーグ、2次予選リーグ)を重視した内容となっている。年々、選手全体のレベルが上がっており、頑張る女子ジュニア選手にとって「出場したい大会」となっていることは間違いない。

同大会は、もちろん日本一を決める大会である。それと同時に、重要なのが「プログラムメンバーの選抜」である。同大会優勝者は、メンバーに選ばれる権利を得られるが、その他のメンバーは、必ずしも上位選手から選ばれるわけではない。重要なのは将来性。つまり「出場選手全員にチャンスがある」わけだ。



TEAM 2006

齋藤咲良

●テニスヨーロッパのU14ランキングで80位前後と日本人最高位をマーク。ヨーロッパのジュニア最高の舞台、プチザス出場も見えてきている。昨年の全国選抜ジュニア覇者(12歳以下)。

TEAM 2005

小林杏菜

●昨年のRSK全国選抜テニス(14歳以下)優勝者。ワールドジュニアアテニス日本代表にも選ばれたなど、年代屈指のプレーヤー。

TEAM 2007

辻岡史帆

●今年の全国選抜ジュニア(12歳以下)覇者。サウスポーの利点を生かしたクレバーなテニスが特徴。

TEAM 2007

後藤苺衣

●スケールの大きなテニスが魅力。今年、全日本ジュニア(12歳以下)の女子シングルスで優勝という栄冠に輝いている。

OG

光崎 澤

●昨年の全日本ジュニア(14歳以下)覇者。今年、プログラム出身プロ第一号に。すでにITFシニアツアーでポイントを獲得し、世界ランキングもゲット。

※上記は一部、そのほかにも、海外遠征で優勝、全国大会準優勝、ベスト4など、結果を残しているメンバーは数多い

●富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム公式サイト[最新情報はこちら] ➡ <https://girlscup.fujiyakuhinseims.tennis/>

ベスト16

早坂来麗愛

R-PROJECT

①強い選手とも戦え、決勝トーナメントまで進めて良かったです。スクールでプレーしている時より、集中力が高かったし、良いプレーができて自信になりました。もし海外に行けたら、練習している苦手なショットを生かして戦いたいです。②サーブのダブルフォルト、リターン。1本目を確実にしたいです。③全国大会で優勝すること

内田千帆

Team YUKA

①同じ2008年生まれの人と戦えてよかったです。ネットに積極的に出るプレーはできました。いつも関東で戦っている人ともできし、上手な選手が多く、もっとやる気になりました。もし海外の選手と戦う機会があったら、どことど振り回したいです。②トップスピンをかけてアウトしないこと。③世界で活躍して、海外の選手と戦いたいです。

大滝莉央

アクロステニスアカデミー

①これだけ、いっぱい試合をしたのは初めてですごく楽しかったです。2日目からは、深いストロークを打ってチャンスボールを叩く自分のテニスができました。もし海外選手と対戦するなら、何が通用するか試したいです。②自分で組み立ててポイントを取る。先にミスしないこと。③世界で活躍して、海外の選手と戦いたいです。

深町友実加

ラブ

①強い選手と対戦して、ラリーも良かったです。負けたのは残念だけど、力は出せました。楽しかったです。もし海外の選手と対戦できたら、今のプレーをして、何が通用しないかを知りたいです。②フォアのストローク、打点を改善したいです。③6年生で全国大会優勝。同じクラブにいた木本海夢夏選手のように上手になりたい。

4位

宇都宮早絵

TC μ

3位決定戦では「攻め急いでミスが出てしまって」惜しくも敗戦。身長の高い宇都宮の魅力は、スピンの利いた厚い当たりのストロークだ。しっかり足を動かして、打点に入り、きれいなフォームから威力あるショットを放つ。大会中、何度もダウン・ザ・ラインへ強烈なショットを放ち、ポイントを奪っていた。「楽しいよりも緊張のほうが多かったです(笑) どの日も1試合目は足が動かず、力みも出てしまいましたが、その後に修正ができたのは良かったです」と宇都宮。目標は「全国大会優勝」。「どうやったら勝てるのかをしっかりと練習したい」とモチベーションも高い。変なクセがなく、スケールの大きな選手だけに、さらなる成長が期待される。今後、注目したい選手の一人である。

スケールが大きな選手
強打を武器にして
見事4位に！

3位

小坂莉来

Os

「同じ年の選手といっぱい試合ができて良かったです。大会を通して、しっかり振り切ることができました。自分のいいところが出せたと思います」と感想を語った小坂の武器は、高い集中力と深い場所に安定してコントロールすること。深いボールで攻めていき、チャンスボールを叩くというシーンが何度も見られた。3位決定戦でも長所を発揮して、第1セットでは0-1から6ゲーム連続奪取。第2セットはタイブレークとなったが、集中力をさらに高めて7-2で勝利している。小坂の課題は、「相手の強打に対してもしっかりつないでチャンスを作る」こと。3位決定戦では、その意識が奏功した。「一度対戦した相手には負けたくない!」「来年、全国大会で優勝を目指します」と高い意識を持つ小坂。その可能性は無限大だ。

高い集中力と安定感が魅力
順位決定戦でも長所を
発揮して3位を奪取

成澤寿珠

TAクレセント城陽

①全国の選手と対戦できて楽しかったです。自分は、ストロークが良かったけど、ファーストサーブが入らず、大変でした。もし、海外の選手と対戦する機会があったら、ライジングをどんどん打って、積極的にネットに出てみたいです。②積極的なネットプレー。③どんなスタイルの選手と対戦しても、勝てるような選手になること。

戎谷美咲

志津テニスクラブ

①予選リーグは共に2勝1敗。メンタル面においても、自分としては頑張りました。トーナメント1回戦で敗れてすごく悔しいです。もし海外の選手と対戦したら、ヒビらず、自分を信じて頑張りたいです。②サーブの強化。③出場する全国大会すべてで優勝すること。フォームもきれいだし、やさしい藤田桃子選手のようにになりたいです。

上村睦実

team-N.1

①1次予選リーグ、2次予選リーグ、強い子がたくさんいて、その中で勝ち上がってこれた良かったです。攻撃的で自分から攻めていく自分のテニスができました。もし海外の選手とやったら、どれくらい通用するかを試して、どうやったら勝てるかを見つけたいです。②サーブから展開して作ること。③フェデラーみたいなテニス。

渡辺光来

SYT月見野テニスクール

①いつもの試合より、しっかり打つことができました。得意のフォアハンドのクロスなど、調子は良かったです。決勝トーナメント1回戦負けは悔しいですが、次のチャンスで頑張りたいです。②フットワークです。練習しています。③今年の全国大会で優勝すること。同じクラブの辻岡史帆選手のように、強い選手になりたいです。

ベスト8

①大会の感想・自分の出来
②課題 ③将来の目標

強い相手ばかりの中
フォアで攻めることが
できました

永澤亜彩香

サンヒル柏原 TS

①1次予選リーグ、2次予選リーグ、決勝トーナメントと対戦した相手が、みんな強かったです。その中で、フォアハンドで攻めていく、自分のテニスができたと思います。良かったです。特にストロークとボレーは、うまくできたと思います。ただ、今日はミスが多く出てしまいました。残念です。もし海外選手と対戦するチャンスがあったら、サーブ、ストロークをしっかり打って、相手がパワフルでもとにかく頑張ります! ②課題は、あまりミスしないようにすることです。得意なのはスマッシュ、フォアハンド。憧れの大阪選手のようにサーブを打ちたいですが……。③プロの選手になることが目標です。試合をたくさんやりたいし、将来、グランドスラムで戦ってみたいです。ライバルというか、負けたくない相手は、3つ上のお姉ちゃん(亜桜香選手)です。

石川星来

石川 TS

①良い試合、悪い試合どちらもありました。ミスが目立つ試合もあったので、今後直していきたいです。予選でも悪いプレーが出ましたが、次の試合で修正できました。自分のつくテニスはできたと思います。もし、海外選手と対戦する機会があったら、逆に攻めていくテニスでチャレンジしたいです。また、チャンスがあったらIMGで練習してうまくやりたいです。②課題は、サーブプレシープ、少しコースが甘いので、厳しいコースに返したいです。逆に自分のいいところは、最後の一球まであきらめず、甘いボールはしっかり打つところです。③目標は、しっかりボールを捕らえて、一球一球集中するテニスを目指しています。勝ちたいのは、五藤玲奈選手(全小優勝)です。クラブに来る竹下和史プロがうまくて、粘るテニスをするので憧れます。

悪いプレーをしても
次の試合で修正する
ことができました

石島妃菜

CIAO T.C.

①慣れない場所での試合ということもあって緊張したけど、自分のプレーはできました。特に得意とするショートクロスへのショットがうまく打てました。②強いボールなどに負けてしまうこともあったので、しっかり返したいです。③プロになって四大大会に出場すること。すべての大会で優勝したいです。大阪選手のようにになりたいです。

田住星雛奈

HIRO テニスカレッジ

①緊張したけど、楽しかったです。ただ、ノードのポイントをたくさん落としてしまいました。簡単なミスもたくさんあったので残念です。もっと一球一球を大切にしたいです。②練習以外でも、できることをやること。③来年、全国大会でベスト8に入りたいです。大阪選手のように、劣勢から立ち直れるようにしたいです。

奥出彩帆

今立 TC

①やったことない選手、強い選手も多かったけど、その中で2次予選リーグに進めてうれいいます。チャンスボールでミスが出てしまったのは残念です。②フォアのクロスは得意なので、ストレートをしっかり打つこと。好きなジョコビッチのバックも見習いたいです。③全国大会で優勝。全小と全日本ジュニアで優勝したいです。

神田瑞稀

リバーテニスクール

①関東の選手、ほかの地域の上位の選手と対戦できて、試合は楽しかったです。1次予選リーグ1試合目は、特に集中力もコントロールも良かったです。②上位選手とも対等に打ち合えるようにする。ダブルスのボレーも練習したいです。③まず関東大会に出て上位に残ること。大阪選手のように、すごいコースに打てるようにしたいです。

最後まであきらめず
できるだけ
頑張りました

光成七優

ライジングサン HJC

①1次予選リーグ、2次予選リーグ、決勝トーナメントと初めて対戦する人も多く、最初はちょっと緊張しました。自分のテニスは狙ったところに打っていくなど、いろいろと仕掛けていって、チャンスボールが来たら、早く打つということで、それができたので良かったです。最後、サーブの調子が今一つだったのが残念ですが、最後までできるだけ頑張りました。もし、海外に行くチャンスがあったら、まずは自分の今のテニスで試してみたいです。②課題として練習しているのは、サーブとストロークです。得意なショットはフォアのクロス。最後まで、あきらめないとこが、自分のいいところだと思います。③今年、絶対全国優勝したいと思っています。そのために、フットワークを意識して頑張りたいと思います。また、同じ5年生には負けたくないで、絶対勝ちたいです。

日野 桜

自由ガ丘インターナショナルテニスカレッジ

①まず出場できてうれしいです。予選でも勝ち切れ、特に決勝トーナメントの1回戦では、やりたいことができました。ちゃんと打ち込むことができたし、コントロールもよく、しっかり振り切れたのですごくうれしかったです。準々決勝は、もう少しミスを減らせば勝てていたかなと思います。もし海外に行けたら、できることをしっかりやって、相手に爪あとを残して勝ち切りたいです。②約3年間で、グランドスラムに出場できるような選手になること。調子が悪くても前を向いてやることを課題です。いいところは、サーブとフォアの打ち込み、バックのクロス、それと明るいうことです(笑) ③来年12歳以下でトップの年になるので、まずは一個、目の前をこなし結果を残していきたいと思っています。そのためにも、生活もしっかりしようと思っています。

吉田理世

サン城陽 TC

①最初は緊張したけど、慣れて楽しかったです。いろいろなスタイルの選手がいて、戦いにくい試合もありましたが、いい経験でした。初日は今一つでしたが、2日目から攻める自分のテニスができました。得意なフォアのクロス、逆クロスを打てました。②相手に攻められたあとに、盛り返すこと。③来年、関西でベスト8以上に入りたい。

上方璃咲

あじさいMTCアカデミー

①全国レベルの選手が多かったけど、いいプレーも出せました。2次予選リーグでは、0勝だったけど、いろいろな経験ができて良かったです。②打っていくテニスが好き。だけど勝てないので、我慢することを覚えること。ハレブのように我慢しながら組み立てたいです。③今年、ダブルスで全国大会に出られたので、今度はシングルスに出場したいです。

沢代優音

H.Y.S

①あまり緊張はしなかったのですが、試合によって調子の差が激しくて難しかったです。ハードコートで滑れなかったので、振られた時に拾えないことが多くありました。②ボレーの上達。③16歳くらいまでに全国大会で優勝すること。ナダルやシュワルツマン、ハレブのように、フットワークのいい選手が好きだし、なりたいです。

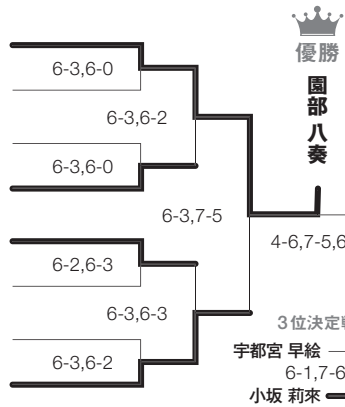
瀧口美優

フィールテニスクール大森

①全国の選手と対戦し、いい経験ができました。1次予選リーグは守備を意識し、2次予選リーグは攻撃を意識しました。結果的にミスが出て、敗れてしまったのももっとなく意識を持つべきでした。②上から叩くこと。ヒザを曲げて腰を落としてちゃんと正確に打つこと。③全国大会で、強い選手にも負けたくない球で勝ちたいです。

富士薬品セイムス ガールズカップ2019 決勝大会 結果

- 1 園部 八奏 与野TC
2 深町 友実加 ラフ
3 大滝 莉央 アクロスTA
4 石川 星来 石川TS
5 永澤 亜彩香 サンヒル柏原TS
6 内田 千帆 Team YUKA
7 早坂 来麗愛 R-PROJECT
8 宇都宮 早絵 TC μ



優勝
園部 八奏

3位決定戦
宇都宮 早絵
小坂 莉来

- 9 市岡 梓奈 グリーンテニスプラザ
10 渡辺 光来 SYT月見野TS
11 上村 睦実 team-N.1
12 日野 桜 JIIC
13 小坂 莉来 O's
14 戎谷 美咲 志津TC
15 光成 七優 ライジングサンHJC
16 成澤 寿珠 TAクレセント城陽

2次予選リーグ

Aブロック	園部 八奏	神田 瑞稀	奥出 彩帆	成澤 寿珠	勝敗	順位
園部 八奏 :与野TC		6-1 6-1	6-0 6-4	6-2 6-3	3-0	1
神田 瑞稀 :リバーTS	1-6 1-6		7-6[6] 6-6 10-6	0-6 1-6	0-3	4
奥出 彩帆 :今立TC	0-6 4-6	6-7[6] 6-0 10-6		6-4 6-7 3-10	1-2	3
成澤 寿珠 :TAクレセント城陽	2-6 3-6	6-0 6-1	4-6 7-5 10-3		2-1	2
Bブロック	田住 星雛奈	戎谷 美咲	大滝 莉央	石島 紀菜	勝敗	順位
田住 星雛奈 :HIROテニスカレッジ		3-6 0-6	1-6 0-6	6-4 6-2	1-2	3
戎谷 美咲 :志津TC	6-3 6-0		2-6 0-6	6-2 6-1	2-1	2
大滝 莉央 :アクロスTA	6-1 6-0	6-2 6-0		6-0 6-1	3-0	1
石島 紀菜 :CIAO T.C.	4-6 2-6	2-6 1-6	0-6 1-6		0-3	4
Cブロック	日野 桜	瀧口 美優	永澤 亜彩香	沢代 楓音	勝敗	順位
日野 桜 :JIIC		6-1 6-0	2-6 1-6	6-2 6-0	2-1	2
瀧口 美優 :フィールTS大森	1-6 0-6		0-6 0-6	2-6 0-6	0-3	4
永澤 亜彩香 :サンヒル柏原TS	6-2 6-1	6-0 6-0		6-7[5] 1-6	2-1	1
沢代 楓音 :H.Y.S	2-6 0-6	6-2 6-0	7-6[5] 6-1		2-1	3
Dブロック	早坂 来麗愛	渡辺 光来	上方 瑠咲	吉田 理世	勝敗	順位
早坂 来麗愛 :R-PROJECT		6-2 6-2	7-5 6-4	6-4 6-1	3-0	1
渡辺 光来 :SYT月見野TS	2-6 2-6		6-3 6-3	1-6 6-1 10-6	2-1	2
上方 瑠咲 :あじさいMTCアカデミー	5-7 4-6	3-6 3-6		4-6 6-3 9-11	0-3	4
吉田 理世 :サン城陽TC	4-6 1-6	6-1 1-6 6-10	6-4 3-6 11-9		1-2	3

Eブロック	市岡 梓奈	芹川 香凛	宇都宮 早絵	丸岡 幸代	勝敗	順位
市岡 梓奈 :グリーンテニスプラザ		6-1 6-3	6-1 6-2	6-0 6-1	3-0	1
芹川 香凛 :パブリックテニス小倉	1-6 3-6		4-6 1-6	4-6 1-6	0-3	4
宇都宮 早絵 :TC μ	1-6 2-6	6-4 6-1		6-1 6-1	2-1	2
丸岡 幸代 :きたひるテニスPOTA	0-6 1-6	6-4 6-1	1-6 1-6		1-2	3
Fブロック	小田島 衣吹	藤井 小夏	上村 睦実	内田 千帆	勝敗	順位
小田島 衣吹 :SFC		2-6 6-2 8-10	1-6 0-6	5-7 6-1 9-11	0-3	4
藤井 小夏 :奈良国際TC	6-2 2-6 10-8		1-6 2-6	6-7[5] 2-6	1-2	3
上村 睦実 :team-N.1	6-1 6-0	6-1 6-2		6-2 6-4	3-0	1
内田 千帆 :Team YUKA	7-5 1-6 11-9	7-6[5] 6-2	2-6 4-6		2-1	2
Gブロック	小坂 莉来	向 人心	石川 星来	三橋 相愛	勝敗	順位
小坂 莉来 :O's		6-4 6-4	6-3 6-1	6-0 6-2	3-0	1
向 人心 :ラフ	4-6 4-6		1-6 1-6	6-3 6-3	1-2	3
石川 星来 :石川TS	3-6 1-6	6-1 6-1		6-1 6-3	2-1	2
三橋 相愛 :サムライPAL	0-6 2-6	3-6 3-6	1-6 3-6		0-3	4
Hブロック	光成 七優	田中 つばさ	深町 友実加	玉那覇 碧	勝敗	順位
光成 七優 :ライジングサンHJC		6-2 6-2	6-3 6-2	6-1 6-4	3-0	1
田中 つばさ :三和TS	2-6 2-6		4-6 2-6	3-6 3-6	0-3	4
深町 友実加 :ラフ	3-6 2-6	6-4 6-2		7-5 6-3	2-1	2
玉那覇 碧 :realize	1-6 4-6	6-3 6-3	5-7 3-6		1-2	3

※上位2名が、決勝トーナメントに進出

1次予選リーグ

Aブロック		園部 八奏	玉那覇 碧	工藤 帆稀	高橋 そら	勝敗	順位
園部 八奏	：与野TC		6-1 7-5	6-0 6-0	6-0 6-1	3-0	1
玉那覇 碧	：realize	1-6 5-7		6-0 6-1	4-6 6-2 10-6	2-1	2
工藤 帆稀	：ハプロイヤルTC	0-6 0-6	0-6 1-6		5-7 2-4 [W.O.]	1-2	3
高橋 そら	：エムスタイルTA	0-6 1-6	6-4 2-6 6-10	7-5 4-2 [W.O.]		0-3	4
Bブロック		奥出 彩帆	石橋 空	有我 あずみ	田中 つばさ	勝敗	順位
奥出 彩帆	：今立TC		6-2 6-0	6-3 7-5	4-6 6-2 10-6	3-0	1
石橋 空	：トリムTS	2-6 0-6		5-7 1-6	1-6 2-6	0-3	4
有我 あずみ	：樺クラブ	3-6 5-7	7-5 6-1		3-6 5-7	1-2	3
田中 つばさ	：三和TS	6-4 2-6 6-10	6-1 6-2	6-3 7-5		2-1	2
Cブロック		田住 星雛奈	鈴木 菜々	三橋 相愛	太田 乃愛	勝敗	順位
田住 星雛奈	：HIROテニスカレッジ		6-1 6-0	6-7[4] 4-6	6-3 6-2	2-1	1
鈴木 菜々	：ウイングショット	1-6 0-6		0-6 2-6	3-6 0-6	0-3	4
三橋 相愛	：サムライPAL	7-6[4] 6-4	6-0 6-2		4-6 4-6	2-1	2
太田 乃愛	：Wish TC	3-6 2-6	6-3 6-0	6-4 6-4		2-1	3
Dブロック		大滝 莉央	向 人心	植月 ゆず香	布川 優	勝敗	順位
大滝 莉央	：アクロスタ		6-4 6-0	6-0 6-0	3-6 6-2 10-5	3-0	1
向 人心	：ラフ	4-6 0-6		6-0 5-7 10-6	6-4 6-4	2-1	2
植月 ゆず香	：エースTC	0-6 0-6	0-6 7-5 6-10		2-6 0-6	0-3	4
布川 優	：湘南ローンTC	6-3 2-6 5-10	4-6 4-6	6-2 6-0		1-2	3
Eブロック		日野 桜	松本 理紗	揚野 ひかり	内田 千帆	勝敗	順位
日野 桜	：JIIC		6-2 6-2	6-2 6-2	6-1 6-3	3-0	1
松本 理紗	：名古屋LTC	2-6 2-6		6-4 2-6 10-8	6-2 1-6 8-10	1-2	3
揚野 ひかり	：MJTC	2-6 2-6	4-6 6-2 8-10		4-6 6-2 4-10	0-3	4
内田 千帆	：Team YUKA	1-6 3-6	2-6 6-1 10-8	6-4 2-6 10-4		2-1	2
Fブロック		永澤 亜彩香	山本 陽穂	手塚 舞	藤井 小夏	勝敗	順位
永澤 亜彩香	：サンヒル柏原TS		6-0 7-6[2]	6-1 6-0	6-2 6-0	3-0	1
山本 陽穂	：アイト	0-6 6-7[2]		1-6 1-6	4-6 4-6	0-3	4
手塚 舞	：宇都宮TC	1-6 0-6	6-1 6-1		2-6 1-6	1-2	3
藤井 小夏	：奈良国際TC	2-6 0-6	6-4 6-4	6-2 6-1		2-1	2
Gブロック		早坂 来麗愛	加藤 聖菜	有馬 璃音	丸岡 幸代	勝敗	順位
早坂 来麗愛	：R-PROJECT		6-0 6-2	6-3 6-1	6-4 6-2	3-0	1
加藤 聖菜	：グランディールTC	0-6 2-6		2-6 0-6	1-6 1-6	0-3	4
有馬 璃音	：K-TENNIS TRAINING	3-6 1-6	6-2 6-0		7-6[4] 4-6 5-10	1-2	3
丸岡 幸代	：きたひるテニスPOTA	4-6 2-6	6-1 6-1	6-7[4] 6-4 10-5		2-1	2
Hブロック		芹川 香凛	前田 恵穂	生野 れん	上方 瑠咲	勝敗	順位
芹川 香凛	：パブリックテニス小倉		6-4 7-5	6-0 6-0	5-7 3-6	2-1	2
前田 恵穂	：FFTA Nanao	4-6 5-7		6-4 7-6[2]	1-6 2-6	1-2	3
生野 れん	：宮の森SC	0-6 0-6	4-6 6-7[2]		2-6 1-6	0-3	4
上方 瑠咲	：あじさいMTCアカデミー	7-5 6-3	6-1 6-2	6-2 6-1		3-0	1

Iブロック	市岡 梓奈	中島 音葉	吉田 理世	山高 心慎	勝敗	順位
市岡 梓奈 :グリーンテニスプラザ		6-0 6-0	6-1 6-3	6-1 6-3	3-0	1
中島 音葉 :ノアアカデミー神戸垂水	0-6 0-6		1-6 4-5 ret	4-6 3-6	0-3	4
吉田 理世 :サン城陽TC	1-6 3-6	6-1 5-4 ret		4-6 6-3 10-7	2-1	2
山高 心慎 :佐世保LTC	1-6 3-6	6-4 6-3	6-4 3-6 7-10		1-2	3
Jブロック	宇都宮 早絵	杉山 優那	水口 奈美希	渡辺 光来	勝敗	順位
宇都宮 早絵 :TC μ		7-5 6-3	4-6 6-3 10-1	6-1 6-3	3-0	1
杉山 優那 :ウエスト横浜TC	5-7 3-6		4-6 0-6	2-6 1-6	0-3	4
水口 奈美希 :ALLROUND	6-4 3-6 1-10	6-4 6-0		3-6 3-6	1-2	3
渡辺 光来 :SYT月見野TS	1-6 3-6	6-2 6-1	6-3 6-3		2-1	2
Kブロック	小田島 衣吹	徳本 美優	阿部 千春	沢代 楓音	勝敗	順位
小田島 衣吹 :SFC		6-1 6-2	6-4 6-0	6-4 6-3	3-0	1
徳本 美優 :FUKUIJTT	1-6 2-6		3-6 2-6	3-6 0-6	0-3	4
阿部 千春 :丸亀インドアテニス	4-6 0-6	6-3 6-2		2-6 1-6	1-2	3
沢代 楓音 :H.Y.S	4-6 3-6	6-3 6-0	6-2 6-1		2-1	2
Lブロック	窪田 結衣	瀧口 美優	田中 聖香	上村 睦実	勝敗	順位
窪田 結衣 :えはらITC		3-6 6-3 7-10	2-6 4-6	6-3 6-1	1-2	4
瀧口 美優 :フィールTS大森	6-3 3-6 10-7		6-3 4-6 10-7	2-6 1-6	2-1	2
田中 聖香 :ITS九州	6-2 6-4	3-6 6-4 7-10		1-6 3-6	1-2	3
上村 睦実 :team-N.1	3-6 1-6	6-2 6-1	6-1 6-3		2-1	1
Mブロック	小坂 莉来	野口 妃与里	石島 紀菜	松橋 伶音	勝敗	順位
小坂 莉来 :O's		6-1 6-3	6-2 6-0	6-1 6-0	3-0	1
野口 妃与里 :ウイングショット	1-6 3-6		2-6 4-6	2-6 1-6	0-3	4
石島 紀菜 :CIAO T.C.	2-6 0-6	6-2 6-4		6-4 6-1	2-1	2
松橋 伶音 :宮の森旭川	1-6 0-6	6-2 6-1	4-6 1-6		1-2	3
Nブロック	石川 星来	坪井 舞央	横原 凛	戎谷 美咲	勝敗	順位
石川 星来 :石川TS		6-1 6-2	6-1 6-3	6-4 6-3	3-0	1
坪井 舞央 :浮羽テニス倶楽部	1-6 2-6		7-6[5] 6-2	6-2 5-7 2-10	1-2	3
横原 凛 :西宮TC	1-6 3-6	6-7[5] 2-6		1-6 4-6	0-3	4
戎谷 美咲 :志津TC	4-6 3-6	2-6 7-5 10-2	6-1 6-4		2-1	2
Oブロック	光成 七優	桑田 もか	木戸 菜々香	成澤 寿珠	勝敗	順位
光成 七優 :ライジングサンHJC		6-1 6-1	6-0 6-1	7-6[6] 3-6 10-5	3-0	1
桑田 もか :東宝調布TC	1-6 1-6		7-6[3] 6-1	1-6 1-6	1-2	3
木戸 菜々香 :コア☆フリード	0-6 1-6	6-7[3] 1-6		2-6 1-6	0-3	4
成澤 寿珠 :TAクレセント城陽	6-7[6] 6-3 5-10	6-1 6-1	6-2 6-1		2-1	2
Pブロック	稲見 美咲	瀧野 塔子	神田 瑞稀	深町 友実加	勝敗	順位
稲見 美咲 :サムライPAL		-	-	-	-	-
瀧野 塔子 :高崎TC	-		2-6 4-6	1-6 1-6	0-2	3
神田 瑞稀 :リバーTS	-	6-2 6-4		3-6 1-6	1-1	2
深町 友実加 :ラフ	-	6-1 6-1	6-3 6-1		2-0	1

※上位2名が2次予選リーグに進出

藤井小夏
奈良国際TC
①すごくレベルが高いなと思いました。自分のいる奈良県とは比べものにならないくらいまい。自分は、全然ダメでした。ミスが多かったし、ダブルフォルトも多かった。②セカンドサーブの確率を上げること。ボレーも苦手なので上達したいです。③全国大会でベスト8以上に入ること。奈良県の選手には負けたくないです。

小田島衣吹
SFC
①あきらめずボールも追い続けていたし、自分のプレーの出来は、悪くはなかったと思います。ただ出場選手が予想以上に身長が高くてバファフルでした。地域大会なら決まったショットも拾われてビックリしました。②身長の高い選手やバファフルな相手にでも、対応すること。③2年以内に全国大会でベスト4以上に入ることです。

丸岡幸代
きたひるテニスPOTA
①いろんなレベルの人とやれてよかったし、同じくらいの人と戦った時に、あきらめることがなかったのがよかったです。強打する人、声を出す人など、見本にしたいと思いました。②5年生だけの大会とか全小では、3回戦くらいまではしっかり勝ち上がる。③全小、全日本ジュニアで3回戦進出。A.パーティのように強打したいです。

芹川香凛
パブリックテニス小倉
①1次予選リーグでは、自分のプレーもできたけど、2次予選リーグでは、みんな強くて歯が立ちませんでした。②フォアは得意ですが、サーブとバックハンドが苦手なので上達したいです。それと大阪選手は、どんな時もけこう笑顔でいるので見習いたいです。③関西ジュニアを勝ち抜き、全国大会に出場し、勝利すること。

玉那覇 碧
realize
①色々なスタイルの選手がいて、難しかったです。相手を見て、攻めたりつないだりする自分のテニスをもっとできるようにしたいです。点数にすると50点くらいです。②サーブでダブルフォルトを減らすこと、もっと厳しいコースに打つこと。③全国でベスト4以上に入ること。同じ左利きのクビワ選手のようなフォアを覚えたいです。

田中つばさ
三和TS
①集中力が切れてしまったり、ミスが多かったです。相手を見たら残念でしたが、得意なフォアのクロスなど、自分のテニスはしっかりできました。②後藤草衣選手のようにしっかり攻められるし、つなげるのもうまい選手になる。③去年から東海大会に出て1回戦負けが多いので、しっかり勝ち上がる。そして全国に行きたいです。

三橋相愛
サムライPAL
①全国から集まった色々な人と戦え、弱点も長所もわかったことがよかったです。特に決勝大会はポイント奪うのが大変。もっと頑張らないと、と思いました。②いつでも、理想のプレーをすることが課題。大事な場面でミスが減らしたいです。得意なのはフォアハンドです。③格上や勝てなかった相手にでも理想のプレーをしたいです。

向 人心
ラフ
①みんな強かったけど、自分はずっと力を出せたと思います。地域大会1位の選手と3回対戦して、自分の実力がわかった。次で戦った時はチャレンジしたいです。②もっと自分から攻撃的にいき、ミスしないようにすること。速いボールでも粘ること。ハレバ選手のように拾って攻める選手になりたいです。③全国大会ベスト8。

①大会の感想・自分の出来 ②課題 ③将来の目標

決勝大会 1次予選リーグ出場

横原 凛
西宮テニスクラブ

田中聖香
ITS九州

山高心慎
佐世保LTC

手塚舞
宇都宮テニスクラブ

桑田もか
東宝調布テニスクラブ

窪田結衣
えはらITC

中島音葉
ノアアカデミー神戸垂水

山本陽穂
アイテニスクラブ

鈴木菜々
ウイングショット

工藤帆稀
ハプロイヤルTC

木戸菜々香
コア☆フリード

松橋伶音
宮の森旭川

水口奈美希
ALLROUND

有馬璃音
K-TENNIS TRAINING

布川 優
湘南ローンテニスクラブ

高橋そら
エムスタイルテニスアカデミー

瀧野塔子
高崎テニスクラブ

野口妃与里
ウイングショット

杉山優那
ウエスト横浜テニスクラブ

加藤聖菜
グランディールTC

植月ゆず香
エースTC

有我あずみ
樺クラブ

坪井舞央
浮羽テニス倶楽部

阿部千春
丸亀インドアテニス

前田恵穂
FFTA Nanao

松本理紗
名古屋LTC

石橋 空
ドリームTS

徳本美優
FUKUI. JTT

生野れん
宮の森SC

揚野ひかり
MJTC

太田乃愛
Wish TC